回 覧

日本初セーフコミュニティ認証都市

国際安全都市　セーフコミュニティかめおか

けがや事故を予防しよう

Vol.50

令和８年１１月号

初の国際認証から18年、50 号特集として市民とともに築いた成果をお知らせします



2008年

セーフコミュニティとは、「けがや事故は偶然の結果ではなく予防できる」という観点から市民の皆さまと行政機関などが協働して安全・安心に暮らせるまちをつくる活動です。

このセーフコミュニティは、WHO（世界保健機関）が推奨しており、亀岡市は2008年に国内で初めて国際認証を取得。2013年、2018年と5年ごとの国際認証を経て、2023年には新制度である国内認証を取得しました。



2013年



2018年



2023年

安全安心のための活動に取り組む7つの対策委員会

亀岡市では、「スポーツの安全」「自殺対策」「高齢者の安全」「乳幼児の安全」「交通安全」「防犯」「防災」の7つの対策委員会を設置し、安全・安心なまちを目指しています。

スポーツの安全対策委員会

課 題 スポーツによるけが予防に関する研修会が少なく、参加率も低い。

取 組 専門家を講師に迎え、子ども向けのけが予防研修会を開催しています。



京都サンガ FC.トレーナーによる子ども向け研修会

2025年度 **54人参加**

自殺対策委員会

課 題 自殺を予防できるまちの実現のため、幅広い世代へのアプローチが必要である。

取 組 街頭啓発等のほか、ゲートキーパー養成講座を開催しています。



ゲートキーパー養成講座受講者数

2012 年度開始 **192 人** ⇒ 2025年度 **延べ 1467人**

高齢者の安全対策委員会

課 題 高齢者は転倒によるけがが最も多い。

取 組 運動教室や介護予防サポーター養成講座を開催しています。



介護予防サポーター累計数

2013年度 **98人** ⇒ 2025年度 **延べ516人**

乳幼児の安全対策委員会

課 題 乳幼児のけがの発生場所は自宅が多い。

取 組 乳幼児4ヶ月健診時に転落や転倒、やけど等家庭での事故予防を呼びかけています。



家庭内での外傷予防実施率

2015 年集計開始 **77.1%** ⇒ 2025 年 **82.3%**

交通安全対策委員会

課　題　交通事故による負傷者数が多い。

取　組　街頭啓発活動のほか、自転車用ヘルメットや反射材着用促進に取り組んでいます。



亀岡警察署管内の交通事故発生件数

2008年　519 件 ⇒ 2025年　105件

防犯対策委員会

課　題　特殊詐欺や侵入盗、自転車盗の被害が多い。

取　組　街頭啓発活動のほか、青色防犯パトロールや防犯カメラの設置等に取り組んでいます。



亀岡警察署管内の刑法犯認知件数

2008年　1391 件 ⇒ 2025年　206 件

防災対策委員会

課　題　地域における災害や防災に関する専門的知識や技能を持つ人材が不足している。

取　組　市主催の防災士養成講座や児童・生徒などが参加できる防災イベントを実施しています。



市在住の防災士資格取得者数

2021年度（事業開始前）　57 人 ⇒ 2025 年度　280 人

国際安全都市かめおか　防災・安全安心フェスタ2026

課　題　児童・生徒など、若年層に対する防災訓練や啓発の機会が不足している。

取　組　女性や子どもたちをはじめ、幅広い年齢層の市民が参加しやすい防災イベントとして、7つの対策委員会合同で実施しました。



防災クエストに挑戦する子どもたち

国際安全都市かめおか　セーフコミュニティ年表

2006 年	セーフコミュニティ取組宣言、推進協議会設置
2007 年	篠町自治会が都市型モデル地区として活動開始
2008 年	全国初のセーフコミュニティ国際認証を取得
2011 年	自殺、乳幼児、高齢者、交通安全、防犯、スポーツなどの対策委員会を設置
2013 年	セーフコミュニティ再認証を取得 インターナショナルセーフスクール（ISS）の取り組み宣言
2014 年	篠町に「安全安心モニュメント」を設置
2015 年	ISS 初認証（市立曽我部小学校、市立保育所8園、亀岡あゆみ保育園）
2016 年	ドライブレコーダーによるまちの見守り協定の締結開始
2017 年	市民参加型プロジェクト開始 （セーフティドライブプロジェクト　・まち・レコプロジェクト）
2018 年	セーフコミュニティ再々認証を取得、ISS 再認証を取得
2021 年	防災対策委員会を新たに設置 セーフコミュニティ安全安心のまちづくり全国協議会　会長市に選出
2023 年	セーフコミュニティ国内認証現地審査を実施 全国初のセーフコミュニティ国内認証を取得
2024 年	セーフコミュニティ先進地である韓国を視察
2025年	青森県十和田市、大阪府松原市と「国際安全都市」を宣言 第1回「国際安全都市」アジア市民大会 in 京都・亀岡を開催











「国際安全都市」宣言とは？

令和7年1月14日、青森県十和田市、大阪府松原市と「国際安全都市」を宣言しました。この宣言は、亀岡市がセーフコミュニティ安全安心のまちづくり全国協議会の会長市であり、セーフコミュニティを「国際安全都市」とわかりやすく表現し、その取り組みを一層広げようと、国内のセーフコミュニティ認証自治体に呼び掛けたことで実現しました。宣言には、「自らの実践を他の地域と共有し、安心安全な社会の形成に向けて貢献する」などの内容を盛り込んでいます。



「国際安全都市」宣言

だれもが安心安全で暮らせるまちづくりは、世界共通の願いである。

国際基準に基づいた安心安全で暮らせるまちづくりは、1970 年代にスウェーデンの地方都市から始まり、その後、WHO（世界保健機関）が推奨する「セーフコミュニティ」という認証制度として世界各地に取り組みが広がっている。

私たちは、セーフコミュニティによる国際基準に則り、「事故」や「けが」など、あらゆる危害は未然に防ぐことができるという理念のもと、「自分たちのまちは自分たちで守る」というオーナーシップの精神で市民協働のまちづくりを進めている。

私たちは自らの実践を他の地域と共有し、安心安全な社会の形成に向けて貢献するため、このセーフコミュニティに取り組む私たちのまちを「国際安全都市」とすることを宣言する。

令和7年1月14日

京都府亀岡市長

青森県十和田市長

大阪府松原市長

問　亀岡市総務部自治防災課　電話：0771-55-9560　FAX：0771-24-5501
E-mail　1sc2008@city.kameoka.lg.jp